

RI第2620地区 静岡第3分区

沼津柿田川ロータリークラブ



RI会長
RI第2620地区ガバナー
会長
幹事
例会日時
例会場

ロン D.バートン
志田 洪顯
菊地 勝男
伊藤 毅
毎週月曜日 12:30点鐘
沼津卸商社センター 2F
〒411-0912 静岡県駿東郡清水町卸団地203
TEL 055-971-6500
〒410-0312 沼津市原1771-2 増田方
TEL 055-969-2321 FAX 055-969-2322
E-MAIL officework@rcj-nk.org

事務局

会長挨拶

第1516回例会 会長挨拶

会長 菊地勝男

真っ暗な部屋の中に、たった一人であることを想像してみてください。前に歩こうと思っても、先が見えないととても不安でしょう。手や足でまわりを探ってみても、何かにぶつかったり、つまずいたりするような気がして、なかなか前に進めませんよね。手を伸ばせる小さな範囲だけが、自分の世界のすべてのような気がするでしょう。何とか、電灯のスイッチを見つけて明かりをつけてみます。するとどうでしょう。さっきまで、とても小さく思えた部屋が、とても広々と感じられますし、障害物も何もない部屋のなかを、自分が恐る恐る歩いていたことが、可笑しくなってしまいます。全く同じ部屋を、明かりがあるだけで、安心して歩いて、自分の世界が広がったような気がします。

真っ暗な道を歩くのも、とても不安です。こんな逸話があります。ある人が、人気の無いところで道に迷って、夜になってしまいました。途方に暮れていましたが、よく見ると少し先の方に灯りがあるようです。その灯りを頼りに、何とか道を進み近づいていくと、赤々と火のついたろうそくを持っている人に出会いました。その人は、自分のろうそくで明るくなった道を迷うことなく歩いていきます。その堂々とした姿に、思わず後からついて行きたくなってしまいました。その灯りのなかでいると、自分も迷うことなく歩いて行けそうな気がしたのです。しばらく一緒に歩いていましたが、どうもろうそくを持った人がいくところは、自分が本当に行きたいところではないような気がしました。そう思っているうちに、その人はどこかへ行ってしまいました。気がつくとも真っ暗闇のなかです。また不安になって、他の灯りを探してみました。それから、何人かの火のついたろうそくを持った人についていきましたが、どうも何か違うような気がして、別の人を探すということを繰り返します。そのうちに、とうとう自分がどこへ行けばいいのかわからなくなってしまいました。どこか、行きたいところがあったはずなのに、どうしても思いだせないのです。何だか悲しくなって、涙がでできます。「どうしたのですか？」それを見た人が声をかけてくれました。その人も、とても明るく燃えているろうそくを持っています。事情を話すと、その人はあきれたように言います。「あなただって、ちゃんとろうそくを持っているではないですか」そうでした。今まで気がつかなかったのですが、ちゃんと自分の手のなかに大きなろうそくがあったのです。「ほら、私が灯をつけてあげますよ。他の人から、灯をつけてもらっても、ついていく必要はないのです。それよりも、その灯りで誰かのではない自分の道を歩いてい

きなさい」確かに、自分のろうそくがあれば、心から安心して前に進んでいくことができます。今度は、迷うことなく自分の行きたいところへ向かって進み、本当に欲しいものがみつきそうな気がします。もう他の人の灯りを一生懸命探すこともないのです。「辛」という字の上に、ひとつ小さな横棒の灯りをつけてみれば、「幸」になります。あちこち探してみても、なかなか見つからないはずですよ。

幹事報告

■ 事務連絡 ■

*ガバナー事務所より

2014年6月のロータリーレート 1ドル=102円

■ 例会変更 ■

*新富士RC

6月10日(火)→特別休会

6月24日(火)→28日(土)家族例会

*沼津西RC

6月26日(木)→さよなら例会

■ 週報到着 ■

沼津西RC・富士RC

本日のゲスト・ビジター

ビジター 伊豆中央RC 山口和弘 様
ゲストはありません。

スマイル報告

ありませんでした。

クラブ協議会



クラブ定款改定について

会長 菊地勝男

RIの手続要覧、諸規定の改定等に伴い、今期、クラブ定款・細則・内規の改定案を原パスト会長を中心にして、次期会長、幹事、現幹事、法律有識者、経験者のメンバーで作成して戴くこととなりました。ここに草案がございます。日ごろ定款などに触れる機会がなかなかないことと思いますので、読み上げます。
(定款改定草案一部朗読)



例会の様子

手続要覧

活気あるクラブとなるためのベストプラクティス (BEST PRACTICES FOR VIBRANT CLUBS)

各クラブは、活気あるクラブとなるための独自のクラブ・リーダーシップ・プランを作るべきである。元・現・次期クラブ役員は、クラブの長所やベストプラクティスを取り入れた独自のリーダーシップ・プランを、協力して作るべきである。これらのベストプラクティスには、以下のものがある。

- ・クラブに活気をもたらすための長期計画を立てる
- ・ロータリークラブ・セントラルで、クラブの長期目標を支える年次目標を立てる
- ・会員の積極的な参加を促し、情報を伝えるためのクラブ協議会を開く
- ・クラブ会長、理事会、委員会委員長、会員、地区ガバナー、ガバナー補佐、地区委員会が、互いに、また、事務局と効果的にコミュニケーションを取る
- ・5月末までにdata@rotary.orgに次年度のクラブ役員を報告する
- ・後継者の準備および未来のリーダーの育成を通じて、クラブの長期的な安定を図る
- ・現在のクラブの慣習を反映させて細則を修正する
- ・会員のための親睦行事を開き、友情を育む
- ・全会員がクラブのプロジェクトや役割に積極的に参加する
- ・定期的に一貫した研修を会員に提供する
- ・クラブのニーズに基づく委員会を設置する

クラブ目標を達成し、クラブの独自性を反映させるため、クラブのリーダーは毎年、慣習の見直しを行うべきである。詳しくは「[元気なクラブづくりのために：クラブ・リーダーシップ・プラン](#)」(245)を参照のこと。

ロータリーEクラブ (Rotary E-Clubs)

ロータリーEクラブは、直接顔を合わせた会合を開く代わりに、主にインターネット上で例会を開く(RI細則第1条)。Eクラブは、通常のロータリークラブと同様、奉仕プロジェクト、募金行事、親睦活動を行い、従来のロータリークラブが有するすべての権利、特権、要件を有する。本要覧で言及されるロータリークラブには、特記されていない限り、ロータリーEクラブも含まれる。

ロータリー衛星クラブ (Rotary Satellite Clubs)

ロータリー衛星クラブは、いわば「クラブの中にあるクラブ」である。衛星クラブの会員は、そのスポンサークラブの会員でもある。衛星クラブは、スポンサークラブとは別に例会を開くが、通常のロータリークラブの規則に則って運営されなければならない。本要覧で言及されるロータリークラブには、特記されていない限り、ロータリー衛星クラブも含まれる。

◆次回例会プログラム◆ 米山梅吉記念館例会

出席報告

会員数	出席計算に用いた会員数	出席計算に用いた出席者	出席率	4月20日修正出席率
18名	18名	17名	94.44%	94.44%

出席：古泉・太田・原・野口・菊地・梅田 他 計17名

欠席：前田 計1名

MU：前田・大石・前澤・中田 計4名